



CHAPTER 2

CDP の設定

この章では、Cisco Discovery Protocol (CDP) の設定方法について、次の内容を説明します。

- ・「CDP の概要」(P.2-1)
- ・「設定時の注意事項および制約事項」(P.2-2)
- ・「CDP の設定」(P.2-2)
- ・「CDP コンフィギュレーションの確認」(P.2-11)
- ・「CDP の設定例」(P.2-15)
- ・「デフォルト設定」(P.2-15)
- ・「その他の関連資料」(P.2-15)

CDP の概要

ここでは、次の内容について説明します。

- ・「CDP の概要」(P.2-1)
- ・「ハイアビラビリティ」(P.2-2)

CDP の概要

Cisco Discovery Protocol (CDP) は、データリンク層の上で動作し、接続されているすべてのシスコ製デバイスに情報をアドバタイズし、接続されているシスコ製デバイスに関する情報を検出および表示するために使用されます。CDP は、シスコ製のすべての機器で動作します。

CDP はネイバー デバイスのプロトコル アドレスを収集し、各デバイスのプラットフォームを検出します。CDP の動作はデータリンク レイヤ上に限定されます。異なるレイヤ 3 プロトコルをサポートする 2 つのシステムで相互学習が可能です。

CDP が設定された各デバイスは、マルチキャスト アドレスに定期的にアドバタイズメントを送信します。各デバイスは SNMP メッセージを受信できるアドレスを最低 1 つはアドバタイズします。アドバタイズメントには保持時間情報も含まれます。保持時間は、受信デバイスが CDP 情報を破棄するまでに保持する時間の長さを表します。アドバタイズメントまたはリフレッシュ タイマーおよびホールド タイマーを設定できます。

CDP Version 2 (CDPv2) では、接続デバイス間でネイティブ VLAN ID またはポート デュプレックス ステートが一致していないインスタンスを追跡できます。

■ 設定時の注意事項および制約事項

CDP では、次の Type-Length-Value (TLV) フィールドがアドバタイズされます。

- Device ID
- Address
- Port ID
- Capabilities
- Version
- Platform
- Native VLAN
- Full/Half Duplex
- MTU
- SysName
- SysObjectID
- Management Address
- Physical Location

すべての CDP パケットに VLAN ID が含まれます。レイヤ 2 アクセス ポート上で CDP を設定した場合、そのアクセス ポートから送信される CDP パケットには、アクセス ポートの VLAN ID が含まれます。レイヤ 2 トランク ポート上で CDP を設定した場合は、そのトランク ポートから送信される CDP パケットに、トランク ポート上で許可設定されている最小の VLAN ID が含まれます。トランク ポートは、そのトランク ポートの許可 VLAN リストに指定されている VLAN ID であれば、どの VLAN ID が含まれている CDP パケットでも受信できます。VLAN の詳細については、『Cisco Nexus 1000V Layer 2 Switching Configuration Guide, Release 4.0』を参照してください。

ハイ アベイラビリティ

CDP ではステートレス リスタートがサポートされています。リブート後またはスーパーバイザ スイッチオーバー後に、実行コンフィギュレーションが適用されます。

設定時の注意事項および制約事項

CDP に関する設定時の注意事項および制約事項は、次のとおりです。

- 接続数が 256 のハブにポートを接続した場合、CDP はポートあたり最大 256 のネイバーを検出できます。
- CDP を設定する前に、CDP 機能がグローバルにイネーブルになっている必要があります。CDP は、デフォルトでグローバルにイネーブルになっていますが、「[CDP 機能のグローバルなディセーブル化](#)」の手順 (P.2-3) を使用してディセーブルにできます。
- CDP を設定できるのは、物理インターフェイスおよびポート チャネル上に限られます。

CDP の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[CDP 機能のグローバルなイネーブル化](#)」(P.2-3)

- 「CDP 機能のグローバルなディセーブル化」(P.2-3)
- 「インターフェイス上での CDP のイネーブル化」(P.2-4)
- 「インターフェイス上での CDP のディセーブル化」(P.2-5)
- 「CDP オプションパラメータの設定」(P.2-8)
- 「CDP 統計情報の消去」(P.2-11)

CDP 機能のグローバルなイネーブル化

CDP をグローバルにイネーブルにするには、ここに示す手順を実行します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- CDP を設定する前に CDP をイネーブルにしておく必要があります。
- CDP はデフォルトでグローバルにイネーブルになっています。

手順の概要

- config t**
- enable cdp**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	config t 例： n1000v# config t n1000v(config)#	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	cdp enable 例： n1000v(config)# cdp enable	CDP 機能をグローバルにイネーブルにします。

CDP 機能のグローバルなディセーブル化

CDP をグローバルにディセーブルにするには、ここに示す手順を実行します

始める前に

この手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- CDP 機能をグローバルにディセーブルになると、すべての CDP コンフィギュレーションもディセーブルになります。
- CDP が現在グローバルにイネーブルになっています。

■ CDP の設定

- CDP は、デフォルトで各インターフェイス上でイネーブルになっています。

手順の概要

- config t**
- no cdp enable**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	config t	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
	例 : n1000v# config t n1000v(config)#	
ステップ2	no cdp enable	CDP 機能をディセーブルにして、関連する CDP コンフィギュレーションをすべて削除します。
	例 : n1000v(config)# no cdp enable	

インターフェイス上での CDP のイネーブル化

特定のインターフェイス上で CDP をイネーブルにするには、ここに示す手順を実行します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- CDP 機能がグローバルにイネーブルになっていること。CDP はデフォルトでイネーブルになっていますが、「[CDP 機能のグローバルなイネーブル化](#)」の手順 (P.2-3) を使用して再度イネーブルにすることもできます。
- CDP が、デフォルトですべてのインターフェイス上でイネーブルになっていること。
- CDP が、設定対象のインターフェイスで現在ディセーブルになっていること。
- CDP の詳細については、「[CDP の概要](#)」(P.2-1) を参照してください。

手順の概要

- config t**
- interface *interface-type slot/port***
- no cdp enable**
- cdp enable**
- show cdp interface *interface-type slot/port***
- copy running-config startup-config**

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 config t	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
例： n1000v# config t n1000v(config)#	
ステップ2 interface interface-type slot/port	CLI を特定のインターフェイスに対するインターフェイス コンフィギュレーション モードにします。
例： n1000v(config)# interface mgmt0 n1000v(config-if)#	
ステップ3 no cdp enable	このインターフェイスで CDP をディセーブルにします。
例： n1000v(config-if)# no cdp enable	
ステップ4 cdp enable	このインターフェイスで CDP をイネーブルにします。
例： n1000v(config-if)# cdp enable	
ステップ5 show cdp interface interface-type slot/port	(任意) 指定したインターフェイスの CDP 情報を表示します。
例： n1000v(config-if)# show cdp interface mgmt0 mgmt0 is up CDP disabled on interface Sending CDP packets every 60 seconds Holdtime is 180 seconds	
ステップ6 copy running-config startup-config	(任意) この設定変更をスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。
例： n1000v(config-if)# copy running-config startup-config	

ポート チャネル 2 で CDP をイネーブルにする例を示します。

例：
n1000v# **config t**
n1000v(config)# **interface port-channel 2**
n1000v(config-if)# **cdp enable**
n1000v(config-if)# **copy running-config startup-config**

インターフェイス上の CDP のディセーブル化

インターフェイス上で CDP をディセーブルにするには、ここに示す手順を実行します。

■ CDPの設定

始める前に

この手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- CDPがデバイス上で現在イネーブルになっていること。



(注) CDPがデバイス上でディセーブルになっている場合、すべてのインターフェイスでもディセーブルになっています。

- CDPが、設定対象のインターフェイスで現在イネーブルになっていること。
- CDPの詳細については、「[CDPの概要](#)」(P.2-1) を参照してください。

手順の概要

- config t**
- interface interface-type slot/port**
- no cdp enable**
- (任意) **show cdp interface interface-type slot/port**
- (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	config t	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
	例 : n1000v# config t n1000v(config)#	
ステップ2	interface interface-type slot/port	指定したインターフェイスに対する CLI インターフェイス コンフィギュレーション モードにします。
	例 : n1000v(config)# interface mgmt0 n1000v(config-if)#	
ステップ3	no cdp enable	指定したインターフェイス上で CDP をディセーブルにします。
	例 : n1000v(config-if)# no cdp enable	

コマンド	目的
ステップ4 <code>show cdp interface interface-type slot/port</code>	(任意) インターフェイスの CDP 情報を表示します。
例 : <code>n1000v(config-if)# show cdp interface mgmt0</code>	
ステップ5 <code>copy running-config startup-config</code>	(任意) この設定変更を保存します。
例 : <code>n1000v(config-if)# copy running-config startup-config</code>	

次に、mgmt0 上で CDP をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# interface mgmt0
n1000v(config-if)# no cdp enable
n1000v(config-if)# show cdp interface mgmt0
mgmt0 is up
      CDP disabled on interface
      Sending CDP packets every 60 seconds
      Holdtime is 180 seconds
n1000v(config-if)# copy running-config startup-config
```

グローバル CDP バージョンの割り当て

デバイス上でアドバイスする CDP バージョンを割り当てるには、ここに示す手順を実行します。

始める前に

この手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- デバイス上で現在サポートされている CDP のバージョンを知っておく必要があります。
- 一度にアドバタイズされるのは 1 つのバージョンの CDP (バージョン 1 またはバージョン 2) だけです。
- CDP の詳細については、「[CDP の概要](#)」(P.2-1) を参照してください。

手順の概要

- 1. config t**
- 2. cdp advertise {v1 | v2}**
- 3. (任意) show cdp global**
- 4. (任意) copy running-config startup-config**

■ CDPの設定

手順の詳細

コマンド	目的
ステップ1 config t 例： n1000v# config t n1000v(config)#	CLI グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ2 cdp advertise {v1 v2} 例1： n1000v(config)# cdp advertise v1 n1000v(config)# 例2： n1000v(config)# cdp advertise v2 n1000v(config)#	アドバタイズする CDP バージョンを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> CDP バージョン 1 CDP バージョン 2
ステップ3 show cdp global	(任意) CDPv2 がインエーブルになっているかどうかを示す CDP コンフィギュレーションを表示します。
例1： n1000v(config)# show cdp global Global CDP information: CDP enabled globally Sending CDP packets every 60 seconds Sending a holdtime value of 180 seconds Sending CDPv2 advertisements is disabled Sending DeviceID TLV in Default Format	
例2： n1000v(config)# show cdp global Global CDP information: CDP enabled globally Sending CDP packets every 60 seconds Sending a holdtime value of 180 seconds Sending CDPv2 advertisements is enabled Sending DeviceID TLV in Default Format	
ステップ4 copy running-config startup-config 例： n1000v(config)# copy running-config startup-config	(任意) この設定変更を保存します。

CDPオプションパラメータの設定

次の CDP パラメータを設定するには、ここに示す手順を実行します。

- デバイス ID

- ネイバー情報の最大保持時間
- 送信アドバタイズメントのリフレッシュタイム

始める前に

この手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- デバイス ID を割り当てる場合、MAC アドレス、シャーシシリアル番号、Organizationally Unique Identifier (OUI; 組織固有識別子) のどれを使用するかがわかっていること。
- 保持時間を設定する場合、CDP がネイバー情報を保持する時間がわかっていること。
- アップストリーム cat6k スイッチからの出力を表示するには、**show cdp neighbor** コマンドを使用すること。
- CDP タイマーを設定する場合は、CDP がアドバタイズする頻度がわかっていること。
- CDP の詳細については、「[CDP の概要](#)」(P.2-1) を参照してください。

手順の概要

- config t**
- (任意) **cdp format device-id {mac-address | other | serial-number}**
- show cdp neighbors** from the upstream device
- show cdp neighbors** from your device
- (任意) **cdp timer seconds**
- (任意) **cdp holdtime seconds**
- (任意) **show cdp global**
- (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	config t	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
	例： n1000v# config t n1000v(config)#	
ステップ2	cdp format device-id {mac-address other serial-number}	(任意) 次のいずれかのオプションとともに CDP デバイス ID を割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • mac-address : シャーシの MAC アドレス • other : シャーシのシリアル番号 (デフォルト) • serial-number : シャーシのシリアル番号 / 組織固有識別子 (OUI)
	例： n1000v(config)# cdp format device-id mac-address	
ステップ3	show cdp neighbors	アップストリーム デバイスから自デバイスを表示します。

■ CDPの設定

コマンド	目的
例 : <pre>swordfish-6k-2#show cdp neighbors Capability Codes: R - Router, T - Trans Bridge, B - Source Route Bridge S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater, P - Phone Device ID Local Intrfce Holdtme Capability Platform Port ID 02000c000000 Gig 1/16 14 S Soft Swit Eth 2/4 02000c000000 Gig 1/17 14 S Soft Swit Eth 2/5 02000c000000 Gig 1/14 14 S Soft Swit Eth 2/2 02000c000000 Gig 1/15 14 S Soft Swit Eth 2/3 02000c000000 Gig 1/18 13 S Soft Swit</pre>	
ステップ4 show cdp neighbors	自デバイスからアップストリーム デバイスを表示します。
例 : <pre>n1000v(config)# show cdp neighbors Capability Codes: R - Router, T - Trans-Bridge, B - Source-Route-Bridge S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater, V - VoIP-Phone, D - Remotely-Managed-Device, s - Supports-STP-Dispute Device ID Local Intrfce Hldtme Capability Platform Port ID swordfish-6k-2 Eth2/2 169 R S I WS-C6503-E Gig1/14 swordfish-6k-2 Eth2/3 139 R S I WS-C6503-E Gig1/15 swordfish-6k-2 Eth2/4 135 R S I WS-C6503-E Gig1/16 swordfish-6k-2 Eth2/5 177 R S I WS-C6503-E Gig1/17 swordfish-6k-2 Eth2/6 141 R S I WS-C6503-E Gig1/18</pre>	
ステップ5 cdp holdtime seconds	(任意) CDP がネイバー情報を破棄するまでにそれを保持する最大時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 範囲は 10 ~ 255 秒です。 デフォルト値は 180 秒です。
例 : <pre>n1000v(config)# cdp holdtime 10</pre>	
ステップ6 cdp timer seconds	(任意) CDP がネイバーにアドバタイズメントを送信するリフレッシュタイムを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 範囲は 5 ~ 254 秒です。 デフォルト値は 60 秒です。
例 : <pre>n1000v(config)# cdp timer 5</pre>	
ステップ7 show cdp global	グローバル CDP コンフィギュレーションを表示します。
例 : <pre>n1000v(config)# show cdp global Global CDP information: CDP enabled globally Sending CDP packets every 5 seconds Sending a holdtime value of 10 seconds Sending CDPv2 advertisements is disabled Sending DeviceID TLV in Mac Address Format</pre>	
ステップ8 copy running-config startup-config	(任意) この設定変更を保存します。
例 : <pre>n1000v(config-if)# copy running-config startup-config</pre>	

CDP統計情報の消去

CDP統計情報を消去するには、次のいずれかのコマンドを使用します。

コマンド	目的
<code>clear cdp counters</code>	インターフェイスのCDP統計情報を消去します。
<code>clear cdp table</code>	1つまたはすべてのインターフェイスのCDPキャッシュを消去します。

CDPコンフィギュレーションの確認

CDPコンフィギュレーション情報を表示するには、次のいずれかのコマンドを使用します。

コマンド	目的
<code>show cdp all</code>	CDPがイネーブルになっているすべてのインターフェイスを表示します。 例 2-1 (P.2-11) を参照してください。
<code>show cdp entry {all name entry-name}</code>	CDPデータベースエントリを表示します。 例 2-2 (P.2-12) を参照してください。
<code>show cdp global</code>	CDPグローバルパラメータを表示します。 例 2-4 (P.2-14) を参照してください。
<code>show cdp interface interface-type slot/port</code>	CDPインターフェイスのステータスを表示します。 例 2-5 (P.2-14) を参照してください。
<code>show cdp neighbors {detail interface interface-type slot/port}</code>	CDPネイバーのステータスを表示します。 例 2-6 (P.2-14) を参照してください。
<code>show cdp traffic interface interface-type slot/port</code>	インターフェイスのCDPトラフィック統計を表示します。 例 2-7 (P.2-14) を参照してください。

例 2-1 show cdp all

```
n1000v# show cdp all
Ethernet2/2 is up
    CDP enabled on interface
    Sending CDP packets every 60 seconds
    Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/3 is up
    CDP enabled on interface
    Sending CDP packets every 60 seconds
    Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/4 is up
    CDP enabled on interface
    Sending CDP packets every 60 seconds
    Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/5 is up
```

■ CDPコンフィギュレーションの確認

```

CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/6 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
mgmt0 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds

```

例 2-2 show cdp entry *name*

```

n1000v# show cdp entry name swordfish-6k-2
-----
Device ID:swordfish-6k-2
System Name:
Interface address(es):
  IPv4 Address: 172.28.30.2
Platform: cisco WS-C6503-E, Capabilities: Router Switch IGMP Filtering
Interface: Ethernet2/2, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet1/14
Holdtime: 152 sec

Version:
Cisco IOS Software, s72033_rp Software (s72033_rp-IPBASE-M), Version 12.2(33)SXH2a,
RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Fri 25-Apr-08 09:11 by prod_rel_team

```

例 2-3 show cdp entry all

```

n1000v# show cdp entry all
-----
Device ID:swordfish-6k-2
System Name:
Interface address(es):
  IPv4 Address: 172.28.30.2
Platform: cisco WS-C6503-E, Capabilities: Router Switch IGMP Filtering
Interface: Ethernet2/2, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet1/14
Holdtime: 140 sec

Version:
Cisco IOS Software, s72033_rp Software (s72033_rp-IPBASE-M), Version 12.2(33)SXH2a,
RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Fri 25-Apr-08 09:11 by prod_rel_team

Advertisement Version: 1

-----
Device ID:swordfish-6k-2
System Name:
Interface address(es):
  IPv4 Address: 172.28.30.2
Platform: cisco WS-C6503-E, Capabilities: Router Switch IGMP Filtering
Interface: Ethernet2/3, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet1/15
Holdtime: 129 sec

```

```
Version:  
Cisco IOS Software, s72033_rp Software (s72033_rp-IPBASE-M), Version 12.2(33)SXH2a,  
RELEASE SOFTWARE (fc2)  
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport  
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.  
Compiled Fri 25-Apr-08 09:11 by prod_rel_team  
  
Advertisement Version: 1  
  
-----  
Device ID:swordfish-6k-2  
System Name:  
Interface address(es):  
    IPv4 Address: 7.7.8.1  
Platform: cisco WS-C6503-E, Capabilities: Router Switch IGMP Filtering  
Interface: Ethernet2/4, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet1/16  
Holdtime: 154 sec  
  
Version:  
Cisco IOS Software, s72033_rp Software (s72033_rp-IPBASE-M), Version 12.2(33)SXH2a,  
RELEASE SOFTWARE (fc2)  
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport  
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.  
Compiled Fri 25-Apr-08 09:11 by prod_rel_team  
  
Advertisement Version: 1  
  
-----  
Device ID:swordfish-6k-2  
System Name:  
Interface address(es):  
    IPv4 Address: 7.7.8.1  
Platform: cisco WS-C6503-E, Capabilities: Router Switch IGMP Filtering  
Interface: Ethernet2/5, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet1/17  
Holdtime: 156 sec  
  
Version:  
Cisco IOS Software, s72033_rp Software (s72033_rp-IPBASE-M), Version 12.2(33)SXH2a,  
RELEASE SOFTWARE (fc2)  
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport  
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.  
Compiled Fri 25-Apr-08 09:11 by prod_rel_team  
  
Advertisement Version: 1  
  
-----  
Device ID:swordfish-6k-2  
System Name:  
Interface address(es):  
    IPv4 Address: 172.28.15.229  
Platform: cisco WS-C6503-E, Capabilities: Router Switch IGMP Filtering  
Interface: Ethernet2/6, Port ID (outgoing port): GigabitEthernet1/18  
Holdtime: 171 sec  
  
Version:  
Cisco IOS Software, s72033_rp Software (s72033_rp-IPBASE-M), Version 12.2(33)SXH2a,  
RELEASE SOFTWARE (fc2)  
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport  
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.  
Compiled Fri 25-Apr-08 09:11 by prod_rel_team  
  
Advertisement Version: 1
```

■ CDPコンフィギュレーションの確認

例 2-4 show cdp global

```
n1000v(config)# show cdp global
Global CDP information:
  CDP enabled globally
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Sending a holdtime value of 180 seconds
  Sending CDPv2 advertisements is disabled
  Sending DeviceID TLV in Default Format
```

例 2-5 show cdp interface

```
n1000v(config)# show cdp interface ethernet 2/3
Ethernet2/3 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
```

例 2-6 show cdp neighbors interface

```
n1000v(config)# show cdp neighbors interface ethernet 2/3
Capability Codes: R - Router, T - Trans-Bridge, B - Source-Route-Bridge
                  S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater,
                  V - VoIP-Phone, D - Remotely-Managed-Device,
                  s - Supports-STP-Dispute
```

Device ID	Local Intrfce	Hldtme	Capability	Platform	Port ID
swordfish-6k-2	Eth2/3	173	R S I	WS-C6503-E	Gig1/15

例 2-7 show cdp traffic interface

```
n1000v(config)# show cdp traffic interface ethernet 2/3
-----
Traffic statistics for Ethernet2/3
Input Statistics:
  Total Packets: 98
  Valid CDP Packets: 49
    CDP v1 Packets: 49
    CDP v2 Packets: 0
  Invalid CDP Packets: 49
    Unsupported Version: 49
    Checksum Errors: 0
    Malformed Packets: 0

Output Statistics:
  Total Packets: 47
    CDP v1 Packets: 47
    CDP v2 Packets: 0
  Send Errors: 0
```

CDPの設定例

CDP機能をイネーブルにして、リフレッシュタイマーおよびホールドタイマーを設定する例を示します。

```
config t
cdp enable
cdp timer 50
cdp holdtime 100
```

デフォルト設定

表2-1に、CDPパラメータのデフォルト設定を示します。

表2-1 デフォルトのCDPパラメータ

パラメータ	デフォルト
CDP	グローバルおよびすべてのインターフェイスでイネーブル
CDP version	バージョン2
CDP device ID	シリアル番号
CDP timer	60秒
CDP hold timer	180秒

その他の関連資料

ここでは、CDPに関する次の追加情報について説明します。

- 「関連資料」(P.2-15)
- 「標準規格」(P.2-15)

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
VLAN	『Cisco Nexus 1000V Layer 2 Switching Configuration Guide, Release 4.0』

標準規格

標準規格	タイトル
この機能でサポートされる新規または改訂された標準規格はありません。また、この機能による既存の標準規格サポートの変更はありません。	—

■ その他の関連資料